



編集発行所 990 山形市鉄砲町一丁目 15-64 山形県立山形西高等学校 嬰鳴同窓会 電話 41-3504 振替山形 5-995番

同窓会が花を添えた式典

嬰鳴同窓会長

相沢 栄



去る六月二十五日、母校創立九十周年記念式典が母校跡の市民会館で盛大に挙行されました。県知事殿、県議会議長殿、市長殿の御列席のもと同窓会からは会員を代表して評議員及び幹事が参列、共に喜びを領ち合った次第でございます。

代表して感謝状を頂戴いたしました。これも一重にみなさまの暖かいご厚情の結果が効を奏したというところでございまして、ここにみなさまに厚く御礼を申し上げます。また同窓生による詩吟・箏曲が式典にふさわしい曲目で上演され、野点で花を添えてくださいました。午後の祝賀会にも有志が謡曲で豪華な幕明けとしてくださりまして当日は同窓会のみならずみなさまにお力をそえていただいた一日でございました。



相沢会長へ感謝状贈呈

創立90周年記念式典

去る昭和六十三年六月二十五、二十六日の両日、本校ゆかりの地でもある山形市民会館に於て、本校の創立九十周年記念式典が行われました。市民会館大ホールの敷設が上がり、厳粛な雰囲気の中記念式典が始まりました。山形県知事を始め御来賓の方々より、山形西高同窓生の目覚ましい活躍が評価され、この輝かしい伝統を受け継ぎ、更なる努力と飛躍を望むといった主旨のお言葉が頂戴いたしました。続いて感謝状贈呈では横田校長より相沢同窓会会長、二瓶後援会会長に感謝状が贈られ

ました。記念講演会。式典閉式の後、大ホールでは、参議院議員・元労働省婦人少年局長である森山眞弓氏を迎え、その記念講演が行われました。演題は「これからの女性たち」です。現代と九十年前の女性を取り巻く社会環境の変化や、女性の立場の違いを説明されながら、これまで日本の女性が抱えてきた問題等を平易な言葉で説いて下さいました。また、男女雇用均等法についても触れられ、最後に「今は個性が性を越える時代である」と結ばれたのでした。

。記念行事 式典行事が滞りなく終わると、箏曲の演奏や吟詠が行われ、「静御前」や「チェロ、尺八と箏との合奏」など、学校内に活力がみなぎっている感じがいたします。創立九十周年というこの記念すべき年にあたり、教職員、生徒一同、同窓会員の皆様のお心を心とし、嬰鳴精神にたちかえって現在の自己の姿を見つめ直し、これからの歩むべき道をしっかりと見据えることが肝要かと考えます。生徒がもっている資質を十分伸ばさせ、深く確かな学力、物事にくじけない気力と体力、そして、やさしい豊かな心、この三つを身につけた人間を育てあげべく、全力を傾注する所存でありますので、今後とも、本校教育に相変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。おわりに、皆様のご健勝とご発展を心から念じあげ、ご挨拶とさせていただきます。

奏など素晴らしい演奏をステージ上で披露して頂きました。その間小ホールでは稲村副会長以下卒業生十名茶道部員三十名による御茶席が設けられ、ここで静かなひと時を過ごされる方も少なからず居られたようです。祝賀会 会場を山形ランドホテルに移し、三百名に及ぶ方々をお迎えしての盛大な祝賀会でした。有志の方の祝詞の後乾杯。終始なごやかな雰囲気でお祝いの言葉を述べられました。校内合唱コンクール 今年もまた歌声の熱い闘いが繰り広げられました。二週間という短い練習期間のうちにはハーモニイを完成したものに作りあげてゆく生徒達には毎年のことながら驚かされます。午後からは東京アーテイスツ合奏団による記念音楽会が催されました。「四季」等の演奏に先立ち合奏団の伴奏で音楽部の校歌合唱がありました。西高校校歌の美しさに改めて感動したものでした。

合奏コンクールの表彰式をもって記念式典は全て終了した訳ですが、西高の伝統の重さを改めて感じました。最後になりましたが、御協力下さいました会員の皆様から感謝申し上げます。

め展示用パネル、ショーケース等一九八万円相当の特別寄贈をいただきました。収蔵品の保管展示には欠くことのできないもので、有効に利用される筈であります。(創立九十周年記念誌より)

嬰鳴資料館内装完了

嬰鳴資料館は、山形県立図書館から校地西側に移築された石造書庫の二階にあり、旧職員や同窓生或いはそのご遺族等より寄贈いただいたゆかりの品々を常設展示している施設です。

このたびの創立九十周年記念事業の一つに資料館の整備改装が企画され、昭和六十二年十二月から六十二年三月まで工事を行いました。即ち、天井を高くして間接照明を採用し、合板だった壁面はクロス張り、床は補強した上でカーペットを敷いて館内の雰囲気一新しました。また階段上に僅かながらスペースを増やして、昭和二十年春に勤労動員中の川崎で爆死した職員と同窓生七柱を祀るコーナーを新設しました。寄宿舎で使用した机、本箱等を往時に近い状態で展示するための小さな畳コーナーもでき上がりました。同窓会からは資料館内の改装を機に、内装にふさわしい特注の書棚をはじ



嬰鳴同窓会員の皆様には益々ご清栄のことと拝察いたします。このたび、皆様方から格段のお力をいただき、去る六月二十五日、山形市民会館における本校創立九十周年記念式典、記念行事、山形ランドホテルにおける記念祝賀会等すべて滞りなく、しかも盛大に挙行することができましたこと、まことに有難く厚くお礼を申し上げます。

また、創立九十周年を記念して皆様方から物心両面にわたるあたたかいご支援をいただき、記念諸

ご挨拶

校長 横田 光正

事業を着実に推進していただいておりますことに、心から深く感謝を申し上げます。明治三十一年、山形市旅籠町に本校が開校されて以来九十年、この間、教育思潮が大きくかわり、幾度か教育改革がなされ、学校をとりまく社会環境も大きく変容いたしました。本校も火災や二度にわたる校舎の全面移転など、幾多の試練に直面したのでありますが、その都度、同窓会員の皆様はじめ多くの関係者の方々、それらの克服のために一致結束して心血を注がれ、今日の本校の隆盛の土台を築いてくださったのであります。このことに想いをいたす

流しているところですが、何事にも集中力と根気強さで敢然と立ち向かってくれますので、たのもしい限りであります。本年三月の卒業生が進路希望実現という面で、東北・北関東以北の女子高でトップグループに入るといふ本校はじ

お願い

創立九十周年を迎え、資料館では収蔵展示物の、高一層の充実を計っております。もしお手もとに開校以来のゆかりの品がございましたら、ご寄贈下さいませますようお願い申し上げます。連絡をお待ちいたしております。



昭和62年度同窓会総会

於パレス平安

62年度の同窓会総会は、11月1日、紅葉映える絶好の晴天に恵まれ、旧校歌の中にもあります千歳山の姿がくっきりと望まれる、山形市荒幡町のパレス平安で開催されました。

来賓として母校の校長をはじめ、恩師先生11名、東京支部の正副会長さん、本日お祝いを受けられる米寿(4)、喜寿(45)の方、それに会員40名ほどの参加者をお迎えし、賑やかに、午前10時30分開会いたしました。

当番学年代表「佐藤チエ」さんの開会の挨拶には、相沢栄会長挨拶、稲村ハナ子副会長の議長により議事に入り、61年度の決算、62年度の予算報告、母校創立90周年記念事業についての説明等の議事が終り、11時15分から「感謝・お祝い」に移りました。

恩師の先生の紹介、母校新任職員紹介、10年勤続職員(佐藤眞夫先生)へ感謝状と記念品贈呈がありました。

生徒の頃を思い出させていただき懐かしい限りでした。今年度は少々ながらビールも用意しましたので会場のムードもふんわりとしていてアトラクションもなごやかでより効果的でした。日本舞踊の荒井光子さん、太田泉さん、独唱の豊田フサさん、伴奏の小林和子さん、いずれも会員の方で、無理にお願ひしましたのに、快く出演を承諾してくださいまして、すばらしい舞踊と歌唱を披露していただき会を盛りあげてくださいましたことに心から感謝しております。

午後1時20分、校歌を斉唱し、遠藤伸子さん(昭和14年高女卒)挨拶で会を閉じました。

続いて米寿、喜寿の方に記念撮影をしていただき、益々のご健勝を祈り玄関でお見送りをいたしました。ふりかえって見ますに、一件の故障もなく無事終了したことに、当番学年幹事(30名)はほっとして、喜び合いました。60才を過ぎた私どもに対して、学校当局の御指導、会員の皆様、当番学年のみなさんの幹事に対する力強い協力と助成にはかならない

と心からお礼を申しあげます。「やるからには、楽しく」のこゝとに、5学年の「熟女」たちは会合を重ねる毎に友情が生じた事は大きな収穫の一つでした。「嚶鳴」を更に胸に刻み、母校と同窓会の発展をお祈りいたします。



昭和62年度同窓会総会 祝高女 米寿・喜寿 542.11.1

おめでとう、ごさいます

- 勲六等宝冠章 受章
齋藤節子様(大正十五年高女卒)
- 婦人栄誉賞
国際アカデミー賞 受賞
衣服功労賞
徳水幾久様(昭和十二年高女卒)
- 全国社会教育委員連合会表彰
佐々木悦様(昭和二十三年高女卒)
- 紀伊国屋演劇賞 受賞
渡辺えり子様(昭和四十八年西高卒)
- 脚本募集コンクール(日本演劇教育連盟主催) 特別賞 受賞
海谷修子様(昭和三十七年西高卒)
- 京都裏千家名師範 受号
井尻トミ様(大正十一年高女卒)
- 山形市民文化賞
茶道
二本松博子(宗博)様(昭和十五年高女卒)

昭和六十三年度

東京支部総会

今年も、恒例になった嚶鳴同窓会東京支部総会が、五月二十八日に東京プリンスホテルで開催されました。当番学年の四十六年卒が十余名、先輩の指導を仰ぎながら何とか当日にこぎつけることができました。来賓として小関西高教頭、恩師の藤島先生、高橋先生、小和田先生、同窓会本部から相沢会長、鈴木先生をお招きし、総勢百九十六名の出席者を迎えて始まりました。新旧の校歌を合唱し、来賓の方々の挨拶を伺いながら思ひ出話を懐かしむと同時に、母校の現状と在校生の活躍を知り、改めて母校の伝統の重さを実感することができました。

藤島先生に乾杯の音頭をとっていただいた中華コースの会食が始まり、各テーブルでは再会の喜びに歓声があがり、来賓の方々と一緒に記念写真を撮ったり、山形弁もとびかう和やかな交歓風景があちこちで見られました。

アトラクションにはNHKテレビ「おはようジャーナル」のキャスター古屋和雄氏を講師に招き、「家族の絆」という題でお話をいただきました。ユーモアのある

屋氏の話には、皆笑ったり、うなずいたりしながら引込まれました。最後は、四十四年卒の榎谷さんの指導のもと全員で「最上川」や「ふるさと」、「学生時代」などを力いっぱい合唱して会を締めくくることができました。

東京近辺に住んではいても、普段はなかなか顔を合わせることも少ない会員達ではありますが、大正十一年卒の方を筆頭に各年代の方々が参加し、世代を越えて交流



昭和四十六年西高卒 当番学年 下山由美記

鬼籍簿

- 松田 ナカ 大7高女
- 高橋 睦子 昭19高女
- 村川 しか 大3女師本
- 中川 トク 大3師二
- 笹原 節子 旧職員
- 菅沼 美与 昭10師二
- 斎藤 とえ 昭9高女
- 白川 千代 昭2高女
- 白田 タミ 昭2高女
- 今野 直枝 昭3高女
- 長谷川 久子 昭12高女
- 柏倉 テウ 昭3高女
- 山川 誠子 昭29西高
- 浜村 きみ 昭17高女
- 津川 和子 昭17高女
- 長沢 あい 昭3高女
- 西長 よし 昭13高女
- 梅津 うめ 昭45高女
- 五十嵐 そよ 大9高女
- 奥山 喜美 大6高女
- 鎌上 はる 昭5高女
- 渡辺 キミ 大5高女
- 工藤 ももえ 大5高女
- 阿部 イヨ 大5高女
- 西村 キヨ 大7女師一
- 那須 初江 大7女師一
- 山本カネヨ 大5高女
- 清野登美子 大5高女
- 鹿間 たか 大5高女
- 大竹 徳子 昭2補習
- 三浦 イツ 旧職員
- 土井 ハマ 大7師本
- 高橋 芳江 大5高女
- 田中みさ子 昭11高女
- 田中 忠正 旧職員
- 大内 千代 昭27南高
- 佐藤 和子 昭26南高
- 鈴木 満枝 昭17高女
- 近藤 哲 旧職員
- 桜井 せい 大7実科
- 朝倉ハナ 昭11高女
- 太田 よう 昭9職員
- 寿山 三郎 旧職員
- 八島 レイ 昭9師本
- 福島うた子 旧職員
- 大谷真喜子 昭13高女
- 誉田 慶恩 元校長
- 武田 いく 昭14師本
- 原田 イサ 昭5師本
- 伊藤ふじよ 大12高女

わがクラス会

第二十三回「二七の会」のこと

「それではみな様、この辺で一応お開きにしたいと思えます。」頃合いをみて進行係が閉会を促した。だが一向に立ち上がる気配がない。恩師を囲んで昔話に花を咲かせている一団、肩をたたき合って談笑する者、孫の話でもしているのか、話でもしているのか、とろけるような顔で身振り手振りを加えて話している者などなど。閉会の言葉など聞く耳もたんとする風情である。結局、それから一時間ほどして二度目の閉会の言葉でようやく

「それではみな様、この辺で一応お開きにしたいと思えます。」頃合いをみて進行係が閉会を促した。だが一向に立ち上がる気配がない。恩師を囲んで昔話に花を咲かせている一団、肩をたたき合って談笑する者、孫の話でもしているのか、話でもしているのか、とろけるような顔で身振り手振りを加えて話している者などなど。閉会の言葉など聞く耳もたんとする風情である。結局、それから一時間ほどして二度目の閉会の言葉でようやく



山形西高二七会 昭和62年7月11日 天童温泉ホテル

「三八会」

母校の九十周年を一年後に控えた同窓会の席で、「皆と会いたいね」の一言で盛り上がり計画されたのが、この度の三八会です。

昭和三十八年卒業後、同窓会当番等を経て、学年全体の親交を深めて参りましたが、卒業二十周年を記念し、五十八年八月に六人の先生方をお迎えし、八十七名が集い、初めて学年会が開かれ、後に第一回三八会と名づけられました。

以来五年目、二回目の三八会は風花の舞う新春一月十七日、ホテルキャッスルにて開かれました。

受験の時期でもあり、出席者は三十七名に留まりましたが、お会いする度にスリムになっておられる川合先生が御出席下さり、西高の歩み等お話し下さいました。又、

「私達は百点満点を目指して来た。あまりにも百点を追い求めて来た。しかし、五十点でも、そこに大きな意義があり、味合いがある、むしろ百点でなくてもいいのではないか」との、実に意味深いお言葉を頂き、卒業後二十五年にして高、かつての生徒は皆感動し、励まされたのでございました。遠く姫路から見えた村田芳子さんの感激の乾杯、和やかに近況報告のスピーチ等、お互いに元気で活躍の事を喜び合った事でした。又、級毎の余興も、熱女らしく演歌から、元乙女のさわやかな合唱まで、多感だった青春時代に戻って、本当に楽しい時間を過ごす事が出来ました。

各級の幹事さんが中心となり学年一つの心で連絡し合い動いている三八会、同窓会費も納めてさわかやかに再会を約束したのでした。

松田幸子 記

御冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

職員動向

昭和六十三年度は、鈴木実教頭が退職なさいましたのをはじめ、次の方々の異動がありました。

- 退職**
- 鈴木 実 (教頭)
 - 伊藤 太喜男 (英語)
 - 荒井 吉男 (国語)
 - 長岡 信也 (社会)
- 転出**
- 工藤 善高 (社会) 福岡高へ
 - 豊島 圭吾 (数学) 長井高へ
 - 佐藤 真夫 (数学) 左沢高へ
 - 伊藤 紀美子 (英語) 寒河江高へ
 - 志田 やす子 (体育) 県体協へ
 - 東海林 啓二 (事務長) 山形工業へ
 - 浅間 浩一 (国語) 村山農業へ
 - 転入
 - 小関 昌一 (教頭) 山形東高より
 - 鈴木 英一 (社会) 上山農業より
 - 吉田 一恵 (国語) 山形中央より
 - 工藤 清二 (数学) 県教育センターより
 - 鈴木 和子 (体育) 寒河江高より
 - 荒木 健郎 (英語) 米沢興譲館より

後輩たちの活躍62年度部活動報告

- 三沢 裕之 (社会) 金山高より**
- 坂井 孝朗 (英語) 新採
 - 武田 和恵 (国語) 新採
 - 水戸 正紀 (国語) 講師
 - 渋谷 淳一 (数学) 講師
 - 近藤 敏雄 (事務長) 左沢高より
- 〇バスケットボール部**
- 〈国体予選〉 準優勝
 - 〈NHK杯〉 準優勝
 - 〈地区大会〉 優勝
 - 〈県大会〉 優勝
 - 〇バレーボール部
 - 〈春高バレー地区大会〉 第三位
 - 〇バドミントン部
 - 〈県大会〉 団体第三位
 - 〈新人戦〉 団体第二位
 - シングルス第三位
 - 西野目育子、ダブルス第二位、西野目・吉田
 - 〇陸上部
 - 入賞・東北大会出場 鹿野美香子、富樫時子
 - 〈東北大会〉 インターハイ出場
- 〇ソフトボール部**
- 〈一年生大会地区大会〉 第三位
- 〇体操部**
- 〈高校総体地区大会〉 団体四位
 - 〈県大会〉 団体六位
 - 〈国体予選〉 第六位
 - 〈新人戦大会〉 個人
 - 布 第八位 服部恵美子
 - 布・繩 第九位 武田祐子
 - 〇弓道部
 - 〈市長杯〉 第三位
 - 〈県青少年弓道大会〉 第三位 岸重紀
 - 〈新人戦地区大会〉 団体第二位
 - 個人第三位 長岡由女
 - 〈山市弓道大会〉 個人第一位 山口典子
 - 〇剣道部
 - 〈高校総体地区大会〉 第三位
 - 〈県大会〉 第三位
 - 〈一年生地区大会〉 第三位
 - 〈新人戦県大会〉 第三位
 - 〇卓球部
 - 〈新人戦地区大会〉 団体第三位
 - 〇なぎなた部
 - 〈国体〉

62年度 校内合唱コンクール

- 六月二十五日、母校は八十九回目の創立記念日を迎え、恒例の校内合唱コンクールが県民会館にて行われました。
- 62年度結果は次の通りです。
- 課題曲**
- A 風のなかのあなたとわたし
 - B 一日に何度も
- 総合**
- 第一位 三の二
 - 課題曲B
 - 自由曲「美しい訣れの朝」より「お母さん」
 - 第二位 三の七
 - 課題曲B 自由曲「走る海」
 - 第三位 三の五
- 演奏部**
- 四〇〇mmドレリー 第三位
 - 四〇〇mmリレー 第三位
- 音楽部**
- その他、各大会に於て各部多数入賞!
- 演技 第五位 中西真紀**
- 団体 出場 中西真紀
 - 〈東北総体〉
 - 演技 中西真紀・石井恵
 - 団体 中西真紀・石井恵
 - 〇水泳部
 - 〈全日本合唱コンクール東北大会〉 金賞
 - 〈全日本合唱コンクール全国大会〉 金賞
 - 〈NHK合唱コンクール県大会〉 金賞

講演会：石坂照子先生

アメリカにおける研究生活をふりかえって

去る五月二十六日、昭和十一年に卒業された石坂照子先生による講演会が開かれました。石坂先生は現在、アメリカのジョンホプキンス大学医学部教授であり、専門の免疫血清学で、世界の第一人者と認められている方です。また、世界の医学賞はもちろんです、日本の文化勲章も受賞されているそうです。

演題は「アメリカにおける研究生活をふりかえって」で、約一時間半に亘り、講演下さいました。生徒達は、大先輩であられる石坂先生

生の淡々とした語り引き込まれ、真剣なまなざしで聞いていました。講演は、卒業直前の母校の大火の話から始まり、女性研究者の走りとして、しかもご主人と同じ研究をされていたため、いろいろな苦労を重ねられたこと、またその時、励まされたのが、おかあさんの生活信条「何事も真心こめて生れ、命がけ、それから先はよく生きる」という言葉だったこと。昭和三十一年代初め、日本の頭脳流出の先駆けとして渡米し、研究をスタートしたが、日本とはまた違った困難があったこと。それと同時に、ご自身の一人息子の子育てに悩み、常に母としては劣等感を持っていたこと。そして、アメリカと日本の教育制度、学生の違いなどについて、本当に貴重な体験をお話下さいました。

先生のお話は実にわかり易く、学校という枠に囲まれた私達が、現在なんと甘んじた毎日を送っているかに気付かざるをえなかった。私も将来、働き続けていきたいと思っている一人である。そんな私にとって、石坂先生のお話はとても興味深く楽しく、そしてこれから自分が選ぼうとしている道の果てしなさなどを考えるのにすばらしい教材になった。

特に私が深く感動したのは、医学を研究し素晴らしい功績を残された先生も、その姿にももちろんの医学者としての姿にももちろんのこと、一人の子供の母親として悩んだ先生の、平凡な女性像に、感動した。医学の最高峰の一人である先生にもそんな、平凡さが感じられるということが、平凡の二乗ともいえる私にも何か明るい希望の光を感じさせてくれた。先生が「何事も真心こめて命がけ、それから先はよく生きる」という言葉が、女性としての生き方としてこれから見習い心がけていくべき教訓が一杯あったと思う。

☆何を、ゆとり、と感じそして実行していくか、その人によって色々あると思う。

☆先生の話を開いて一番強く思ったことは、見聞の狭い没個性の人

恩師をたずぬて

斉藤庄右衛門先生を訪ねて



電話一本、面会OK? 「今日休み、いいですよ。」と云う言葉に甘えさせていただき訪問する事に致しました。

お住いは陣場、松の木の家の向かいのことで、Kさんと同行。すいお邸、立派な門柱の間に駐車し、少し奥に玄関があり、昔ながらの構えでございました。

奥様のお出迎えをいただき、座敷に通されましたが、挨拶もせず、先生は座敷を前に正座しておられ、「お前は何書くの、ホダナ書いて何すんの?」との第一撃でした。多分なつかしさの余りでしょうか。当時母校に勤務なさっておられた頃の、「あんな事、こんな思い出を一つ」と申し上げ、もう今は昔の話をお聞きしました。教員一筋三十八年間のうち、三分の一の十三年間は西高に通われたこと。その間私どもは社会科をお習いした訳ですが、テニスも大層お上手で、三十八年には国体出場(四国)されました。「あの時は、渡辺隣校長が着任、その前は南高の西校舎としてあったから、校長は南高と西高の間を往復して

たけのつたね。」

「あの頃は南高西校舎に通う三年生と二年生は南高の校章付けてよ、西高になてがら入った一年生は、八咫の鏡の校章を付けてください。あだ名事もあつたのだ。校舎は日飛工場の跡、仮三年も保てば良いと云われていた木造でしたが、校舎全景至る処鮮やかに思い起され、音楽堂のことその南に土手があり川が流れていたこと、「グラントの草むしりをして、運動会もやったけな。」

又、二十七年卒のNさんは、今命を守り、母として女としての第一線で御活躍なさっておられますが、進学の時、一番で二つの大学に合格され、一つの道を選ばれるのに、どれ程の思いだったろうか相談された事もあつたそうです。Mさんの奨学生に関する保証人になったりもしたそうですが、「あの頃の生徒は何したべな。」と感慨深げでした。

ご趣味として油絵? 橋本先生のお付合もおありで、いつの間にかお書きになられた様でもあります。

もう還暦も越えられ、日大には八年のお勤め、ご出身は帝国大学。十何代目かの斉藤家の当主として名実ともにますく、健康で長命であらん事をいのり年々、お話しは尽きないけれどお話を聞かれました。

帰り際に生徒をモデルにした、油絵をお預りいたし、速ぐに、本人の手許にお渡し申し上げました。つゆ時にはめずらしく晴天の昼下りの訪問でした。奥様にいられたいただいたおいしいお茶の味がまだ口中に残っております。

訪問者 川崎・渡辺

昭和62年度経常費決算

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

Table with 6 columns: 項目, 子算額 (当初, 流用, 計), 決算額, 残高, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, etc.

Table with 3 columns: (総収入), (総支出), (差引残高). Values: 1,225,950円, 1,113,619円, 112,391円.

昭和63年度経常費予算

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, etc.

昭和62年度基本金

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前年度繰越金, 前年度経常費より, 記念品代(返金), etc.

計 3,988,887

Table with 2 columns: 項目, 金額. Row: 90周年記念事業へ 300,000

III. 差引き残高 3,988,887円 - 300,000円 = 3,688,887円

昭和62年度維持会費納入状況

(敬称略)

Table with 4 columns: 性別, 学年, 氏名, 金額. Lists members and their contributions.

計 274,000

90周年記念事業経過報告

去る六月二十五日、二十六日の両日、創立九十周年記念式典を始め、森山眞弓氏(前労働省婦人少年局長)の講演、同窓生による催事、祝賀会、全校生による合唱コンクール等々の諸行事が、市民会館で盛大に行われました。これも会員皆様の絶大なご協力の賜物と事務局一同心より感謝申し上げます。

九十周年記念事業の経過については、毎年同窓会報で報告して参りましたが、九十周年の年でありましたので、もう一度まとめて報告いたします。昭和五十九年、創立九十周年を迎えるにあたり、記念事業をという声があり、九月二十二日創立九十周年記念事業実行委員会が発会した。記念事業として...

創立90周年記念事業収支報告

(昭和63年6月20日現在)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 収入済額, 決算見込額, 摘要. Rows include 寄付金, 雑収入, 計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 支出済額, 決算見込額, 摘要. Rows include 創立90周年記念事業費, 記念行事費, etc.

三月、嚶鳴資料館の改装完成、六月、記念誌発行、創立記念日を迎える。嚶鳴会館の建設は、昭和六十六年の子定です。寄付は今後とも受けたい。ご協力本当に有難うございました。深く感謝いたします。

編集後記

「栗野先生、会報委員という何をすれば良いのでしょうか？」と緑あつて、新卒で母校へ勤務することとなりましたが、右も左もわからぬままに嚶鳴同窓会報の編集委員を仰せ付かった時の第一声が先の言葉でした。仕事は知らない、ベースはおそいといった私に對して、「会報委員といったら私に報を作ることに決まっていますので、うう」などと決しておっしゃらず、いつも優しく教えて下さいました先生方、ありがとうございます。重大な点がありましたらお許し下さいませ。卒業生が初めて手にするこの会報、今年が創立九十周年という記念すべき年の発行、こんな素晴らしい仕事をさせて頂けるのは夢にも思いませんでした。皆様からの原稿執筆の御協力に心より感謝申し上げます。(武田記)